

湖南省市庁舎周辺整備事業実施設計等CM（コンストラクション・マネジメント）業務
および湖南省市東庁舎周辺サウンディング調査支援業務
公募型プロポーザル評価基準

1. 審査基準の位置づけ

本基準は、「湖南省市庁舎周辺整備事業実施設計等CM（コンストラクション・マネジメント）業務および湖南省市東庁舎周辺サウンディング調査支援業務公募型プロポーザル募集要領」（以下「募集要領」という。）に基づき、「湖南省市庁舎周辺整備事業実施設計等CM（コンストラクション・マネジメント）業務および湖南省市東庁舎周辺サウンディング調査支援業務委託者選定委員会 委員一覧」（以下「委員会」という。）が評価を行う方法および選定方法を示すものである。

2. 評価方法及び受託者の選定

（１） 各評価項目の評価配点は下記の通りとする。

評価項目	評価配点	備考
客観評価	100点	
業務提案書評価	400点	80点×委員5名
見積書評価	100点	
総合計	600点	

（２） 客観評価は事務局が提出書類をもとに参加者の評価を行う。

（３） 参加資格を有しているものの内から、客観評価得点の多い順に5者をプロポーザルの参加資格を有する者とする。応募者が5者に満たない場合は、参加資格を有するすべてのものの参加を認める。

（４） 業務提案書評価は委員会が業務提案書及びプレゼンテーション、ヒアリングにより審査を行う。

（５） 委員会は総合計が最も高いものを受託候補者に選定する。

（６） 有効な提案書を提出した参加資格者であって、「総合計」の高い者から順に契約予定者とする。

（７） 契約予定者の選定にあたり総合計が同点の者が2以上あるときの対応

① 参加資格者それぞれの「総合計」が同じで「見積価格」が異なる場合、「見積価格」が低い者から順次上位の順位を付ける。

② 参加資格者それぞれの「総合評価点」及び「見積価格」が同じ場合、委員会で協議し、委員長が決することとする。

（８） 総合計は満点の5割以上でなければならない。この基準に達しない場合は、受託候補者又は次点事業者としない。

（９） 参加者が1者の場合についても同様に（１）～（６）、（８）の評価、選定を行う。

3. 客観評価

(1) 参加者の評価

① 会社概要【5点】「様式2」

評価項目	評価基準	評価点
CCMJの資格を有する社員数	21名以上	5点
	10名～20名	3点

② 参加者の業務実績【20点】「様式3-1」

同種業務及び類似業務の実績について評価を行う。平成27年4月1日以降に発注され、元請けとして受託し、参加申込書提出までに完了している業務実績の評価項目に応じた評価点にて評価する。

評価項目	評価点	最大件数	最大評価点
同種業務	4点	5件	20点
類似業務	2点		

(2) 配置技術者の評価（資格は取得後1年以上のものに限る）

業務実績【75点】「様式3-2、3-3」

担当・業務分野		最大件数 A	業務実績 B		最大評価点 A × B
管理技術者		3件	同種業務	5点	15点
			類似業務	3点	
主任担当者	① 建築（総合） ② 建築（構造） ③ 電気設備 ④ 機械設備 ⑤ 建築コスト管理 ⑥ 工事施工計画	各2件	同種業務	5点	各10点 (合計60点)
			類似業務	3点	

4. 業務提案書評価方法

業務提案書は提案者の名前を伏した上で、その内容についてのプレゼンテーション、及びヒアリングの結果を含め、以下の評価基準に基づいて5名の委員が評価を行う。

(1) 【業務実施方針】【150点】（様式4-2）

評価項目	評価基準	配点
1. 本業務に対する提案者の取り組み方針と体制	取り組み意欲の高さや積極性	5点
	発注者を支援する姿勢、業務への工夫、配慮	5点
2. 各業務担当チームの特徴	担当者の技術力の高さ	5点

	チーム配置の本業務への適正	5 点
3. 業務上特に配慮する事項	業務内容、業務の背景や課題などの理解度	5 点
	総合的見地からの考え方の的確性	5 点
業務実施方針に対する委員一人あたりの持ち点		30 点

※業務実施方針の評価水準

評価項目	評価水準	評価点
業務実施方針	業務実施方針が極めて優れている	5 点
	業務実施方針が優れている	4 点
	業務実施方針が適切である	3 点
	業務実施方針がやや劣っている	2 点
	業務実施方針が劣っている	1 点

(2) 【業務提案（テーマ①～③）】【250点】（様式4-3）

評価項目		評価基準 (テーマ毎に評価する)	配点
【テーマ①】 庁舎建設に求められる品質、スケジュール管理等に関して、発注者の要望を実現するためのマネジメント手法について	実施設計段階の品質・スケジュール管理に関する考え方の的確性や、実現性があり、業務や与条件に対する理解度について評価する。	●的確性 (与条件との整合性、理解度) ●実現性 (理論的な裏付けに基づく説得力等)	【テーマ①②】 的確性 10 点 実現性 10 点 【テーマ③】 的確性 5 点 実現性 5 点
【テーマ②】 過去の実績から、湖南市が実施する本事業に有効と考える支援方策について	提案者の独自性・優位性があり、本市にとって効果的かつ実績に基づく実現性のある提案となっているか。		
【テーマ③】 効果的なサウンディング調査実施に向けた手法について	調査方法の的確性および多様な提案を実現可能性のある構想として総括するための具体的な手法について評価する。		
業務提案（3テーマ）に対する委員一人当たりの持ち点			50 点

※業務提案（テーマ①～③）の評価水準

評価項目	評価水準	評価点			最大評価点 (A + B) × C
		的確性 A	実現性 B	テーマ C	
業務提案 テーマ ①～③	極めて良好	5 点	5 点	テーマ①② 各 2.0 テーマ③ 1.0	テーマ①② 各 20 点 テーマ③ 10 点
	良好	4 点	4 点		
	十分	3 点	3 点		
	やや不十分	2 点	2 点		
	不十分	1 点	1 点		

5. 見積書評価

評価項目	評価基準	評価点
見積書	(最低提案価格/貴社提案価格) × 100 ※小数点以下切り捨	100 点